

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地歴公民 科目 世界史探究

教科: 地歴公民 科目: 世界史探究 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 3 組 ~ 6 組
 教科担当者: (全組: 粕谷) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (山川出版社 世界史探究)

教科 地歴公民 の目標:
【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報
【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野
【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 世界史探究	の目標:
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	2 古代オリエント文明とその周辺 【知識及び技能】オリエントの気候風土と歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の歴史や社会を考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエント文明への興味をいだき、深めようとする。	①オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。 ④エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。 ⑥クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。 ⑦アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考・判断・表現】 ハムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	4 古代ギリシアの都市国家 【知識及び技能】 古代ギリシアに関して基本的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容をまとめて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら学ぼうと努める。	①ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較しうえて理解する。 ②スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。 ④ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤ヘレニズム時代の歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 オストロンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
2 学期	4 中国の古代文明 【知識及び技能】 古代文明から中国王朝初期の知識を得る。 【思考力、判断力、表現力等】 関心を持って、得た知識の定着をはかる土両区を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 さらに深める努力をする。	①東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。 ②殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。 ④戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	3 南アジアの古代文明 【知識及び技能】 風土やそこで誕生した文明及び歴史の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ内容を要約したりして、理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら調べて、関心を深めようとする。	①仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 ②南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展について理解する。 ③クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ④「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 インド洋航海図(地図)や『エリュトラウラ海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 年	1 イスラーム教の諸地域への伝播 【知識及び技能】 イスラーム教の内容と広まりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ内容を理解が深まるようにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 興味ある内容を調べてまとめる	①イスラーム教が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ②南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ③東南アジアにおいてイスラーム教が進んだ背景について考察し表現している。 ④アフリカにおいてイスラーム教が進んだ要因を考察し表現している。	【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム教が進んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】 諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。	○	○	○	17

下期

【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

○

○

○

--

定期考査					
------	--	--	--	--	--

1

合計

70
